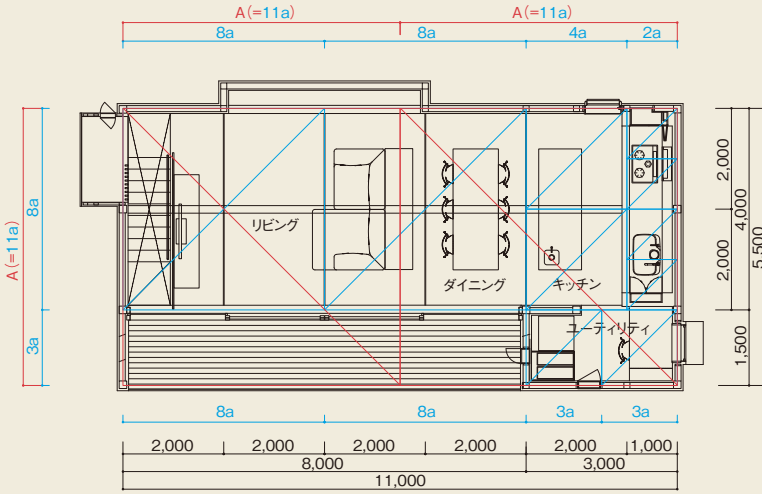


「八雲の家」

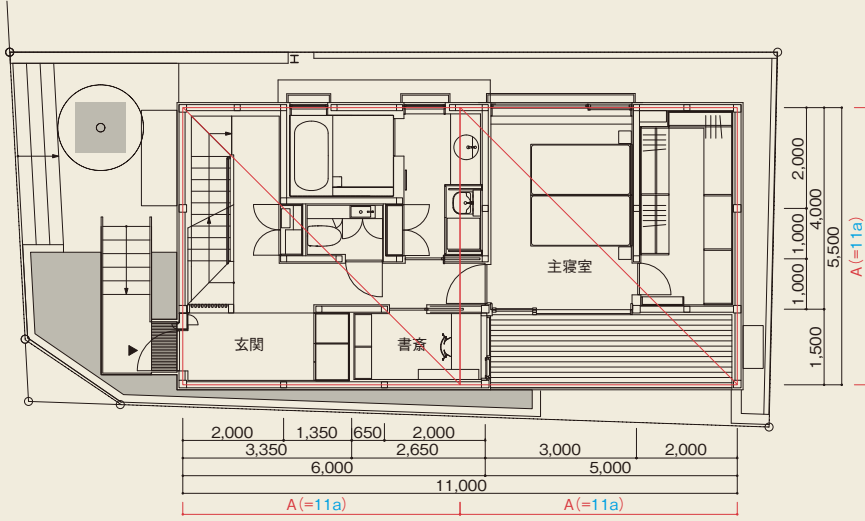
House in Yakumo

2階平面図

0 1 2m



1階平面図



プロポーションを当てはめると建物がフワッと自由になることが多い

矢板さんたちは、概念を現実化し、着地させるために必要なものとして、ディテールとプロポーションを挙げる。プランニングが定まってきた段階で、プロポーションを整えてボリュームを決めるという。プロポーションで縮めるというイメージがわくが、逆に、プロポーションを当てはめると空間は膨らみを得て、建物がフワッと自由になることが多いと矢板久明さんは語る。「八雲の家」では、平面図と断面図でわかるように、平面・断面ともに、正方形のプロポーション。赤で表示された大きな正方形(キューブ)の中に、青で描かれた小さな正方形(キューブ)が入ったような関係となっている(a=500mm)。

地階平面図

